

【NEWS RELEASE】

2021年7月30日

各 位

株式会社三井住友銀行

ジェーピーエス製薬株式会社「SDGs推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、ジェーピーエス製薬株式会社（代表取締役社長：小林 誠二）に「SDGs推進融資」を実施いたしました。

「SDGs推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、ジェーピーエス製薬株式会社については、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

① 高品質な漢方薬の安定供給を通じた健康増進や、自然と調和したライフスタイルの浸透

目標 3 すべての人に 健康と福祉を	3.8 すべての人々に対する財政リスクからの保護、質の高い基礎的な保健サービスへのアクセスおよび安全で効果的かつ質が高く安価な必須医薬品とワクチンへのアクセスを含む、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）を達成する。
目標 12 つくる責任 つかう責任	12.8 2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発および自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。

② 漢方薬の製造工程で発生する廃棄物の再利用や水の循環利用、環境に配慮した排水処理による環境負荷低減

目標 12 つくる責任 つかう責任	12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用および再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。
目標 6 安全な水とトイレを 世界中に	6.3 2030年までに、汚染の減少、投棄の廃絶と有害な化学物・物質の放出の最小化、未処理の排水の割合半減および再生利用と安全な再利用の世界的規模で大幅に増加させることにより、水質を改善する。

三井住友銀行では、「SDGs推進融資」により、本業を通じ、SDGsが達成される社会の実現に貢献をしております。

■ **こだわり抜いた漢方エキス**

栃木県の自社工場で、製品(品質)の根幹であるエキスを一から丁寧に製造しています。厳格な管理の下、長年の経験から生まれた独自の基準で品質を守り抜いています。



■ **堆肥となって活躍する生薬の残渣**

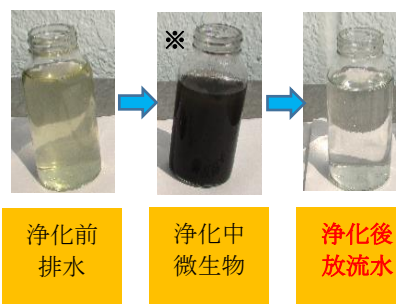
エキスを抽出したあとには大量の生薬カスが出ます。そのまま捨てれば産業廃棄物となり、環境負荷となりますが、ジェーピーエス製薬の生薬カスは、発酵などの処理を行い、近隣の農家で有機肥料としてお役立ていただいています。写真はその有機肥料で育ったアスパラガスです。



■ **微生物を使った排水処理**

エキスや製剤を製造した機械などを洗浄すると、有機物の多い排水が出ます。ジェーピーエス製薬では、こうした排水を化学薬品で処理するのではなく、微生物の力を借りて時間をかけて浄化しています。

※曝気槽で微生物が分解処理した後、汚泥を沈殿させます。その汚泥で浄化中は黒くなります。



<ご参考>

※ SDGsとは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。